

**コミュニケーション能力を育てる「縦割り班活動」**

3年生「あっ、あったよ。」4年生「低学年向けって書いてる。」  
 6年生「じゃあ1年生のAちゃんに答えを聞いてみようか。」5  
 年生「Aちゃんわかる？」1年生「うんわかるよ。答えはね、上ぐ  
 っだよ。」4年生「次のクイズは高学年向けだよ。」2年生「むず  
 かしいな。なんて読むのかな」6年生「これはね、海豚って読  
 むんだよ。」5年生「へー、そうなんだ。さすが6年生!!」



上の会話は集会委員会が行った校内漢字クイズの際の子ども達のやりとりです。校舎内に隠れている漢字クイズを探し出し、答えを書き込んでいくゲームですが、一緒に探して歩くグループは、同学年ではありません。1年生から6年生までのそれぞれの学年で構成されている縦割りのグループです。

上の会話からわかるように隠れているクイズを見つけようとする中学年の子、リーダーとして班全体のお世話をしている高学年の子、クイズを通して活躍できる低学年の子。このような活動ではそれぞれの学年の子どもたちが活き活きとしています。活躍できる場が与えられるからです。毎日の掃除もこの縦割り班で行っています。運動会や遠足、他の集会活動も縦割り班で行います。下級生は上級生のすばらしさを知り、上級生も下級生の持っている力を改めて見直したりすることができます。お互いのよさを知る場となるわけです。活動を通してコミュニケーション能力も身につきます。教室の中でのコミュニケーションは同年代の子どもたちに通じる力です。しかし、縦割り班での活動では、**異年齢の子どもたちとのコミュニケーション能力**が身につけてきます。

今、企業が採用時に現在の若者に期待している力の第一位はコミュニケーション能力です。企業内や地域社会のあらゆる年齢層とコミュニケーションを図る力が求められています。沖代の縦割り班活動は、まさにその力の基礎を6年間でつくっていく教育活動なのです。

**6年生から**

**バトンタッチ!!**

**～新運営委員誕生～**

児童会運営委員の引き継ぎが先週行われました。6年生の運営委員一人一人からこれまでの児童会での取り組みを振り返り、5年生に期待する言葉が語られました。5年生の新運営委員もやる気満々です。



火・木の朝のあいさつ運動もはりきって行っています。先輩から受け継いだ児童会の活動をもっともっと充実させて、楽しい学校にしていってほしいと思います。

**スケート教室 4.5.6年生**

沖代小では、毎年冬の体育の授業の一環としてコア山国でスケート実習を行っています。バランス感覚や巧緻性を高めていくことがねらいですが、氷の上をわずかな力で滑るという感覚を楽しめるように指導していきます。はじめは転んでばかりの4年生も、時間が経つにつれてみるみる上達していききました。5、6年生は経験があるのでわずかな時間で滑れるようになります。



# 「自分の仕事に責任を持とう！」

学校には、給食当番や掃除、係、委員会などたくさんの仕事があります。大変な時もあります。でも、周りの人の「ありがとう」という言葉や励ましの言葉があるとがんばってやり遂げることができます。そして、自信につながります。今後も子どもたちに、感謝や励ましの言葉をかけていきます。家庭でも、子どもたちの仕事があると思います。家族の一員として、自分にできることをみつけ、進んでやろうとしたり、働く喜びや大変さを感じ取り、働くことの大切さを考えたりする良い場だと思えます。ご家庭でも、声かけをお願いします。



## 子どもたちの安全のために

### ○登下校の安全

- ①登校時刻が守れているでしょうか。  
朝食をしっかり食べ、時間にもゆとりを持って登校させてください。
- ②決められた通学路を登下校できているでしょうか。
- ③歩道から車道へ飛び出ることなく、安全に気をつけて歩いているでしょうか。
- ④下校後、友だちの家に行く場合、一度自宅に帰れているでしょうか。  
行き場所を家族にきちんと伝えているでしょうか。
- ⑤信号の合図をきちんと見て、左右の安全を確認して横断しているでしょうか。
- ⑥横断歩道をきちんと渡っているでしょうか。



誰もが、これまで「ひやり！」とした経験があると思えます。『ヒヤリ・ハット』という言葉をご存じでしょうか。『ヒヤリ・ハット』とは、重大な災害や事故には至らないものの、直結してもおかしくない一歩手前の事例をいいます。

重大な事故が発生した際には、その前に多くの『ヒヤリ・ハット』が潜んでいるそうです。結果として事故に至らないと、「ああ、よかった。」と、すぐに忘れてしまいがちです。いろいろな機会をとらえて、話題にあげて家族で話し合いたいものです。

ご家庭でも、毎日の声かけをお願いします。

### ○不審者対策

これからの季節、不審者の出没が多くなります。

『いかのおすし』の合言葉を子どもたちと確認しています。

『 ついて いかない。 知らない車に のらない。

おおごえで叫ぶ。 すぐ逃げる。 しらせる。 』

また、

- ①一人で帰らない
- ②寄り道をしない
- ③人通りの多い所を通る

ことも学校で指導しています。ご家庭でも声かけをお願いします。

